

令和5年度

南区避難所運営訓練

実施報告書

- 南浦和小学校
- 大谷場小学校
- 西浦和小学校
- 文蔵小学校
- 善前小学校

令和6年1月26日（金）

南区役所 総務課 防災・防犯係

令和5年度運営訓練実施報告書

避難所名：南浦和小学校避難所

実施日：11月18日(土)

時間：午前9時10分～12時

1 【訓練概要】

1.1 訓練参加者

参加人数 54名

(参加者内訳)

No.	名称(自治会名、防災アドバイザー、担当職員、施設管理者、外国人、18歳未満の子供、障害者等の支援者、民生委員、その他)	参加人数
1	根岸自治会	27
2	白幡自治会	
3	白幡東高層住宅自治会	18
4	防災アドバイザー	1
5	避難所担当職員	6
6	施設管理者	2
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

令和5年度南区避難所運営訓練

9:00	地震発生	震度6強を記録するさいたま市直下地震
9:10	避難所に向かう	施設管理者 避難所運営リーダー 避難所に集合
9:20	避難所に向かう 避難所開設 通信訓練	【避難所担当職員(以下担当職員)】 避難所運営委員 避難所に集合 【担当職員】施設の被災状況の確認後、避難所を開設する 【担当職員】区災害本部へ避難所開設の報告をする
9:30	避難者受入れ開始 第1回運営会議 通信訓練	【総務班】避難者の受付及び避難者名簿を作成 【避難所運営会議】各班長の自己紹介 開所式打ち合わせ 避難者区切の確認 【担当職員】区災害対策本部へ避難者数を報告
10:00	開所式 避難者区割り訓練 第2回運営会議	施設管理者 挨拶 避難所担当職員(班長) 挨拶 【避難所運営リーダー】挨拶 運営委員会の役割 各班長の紹介 【総務班】の指示のもと、避難者全員で自治会ごとにブルーシートを用いて避難者区割をする 避難者の人数、状況を報告 今後の流れを確認する
11:00	各班訓練開始	【救護班】 救護所設置 救急箱、担架、車椅子を準備 【総務班】 生活ルールの作成 【情報班】 避難者数、各種災害状況の掲示 【食料班】 食料の受け入れ 【物資班】 救援物資受入準備 【環境班】 ゴミ箱の設置 トイレの点検等
12:00	救援物資受入れ 配布訓練	避難者は各自食事をとる ゴミは区分して捨てる
13:00	避難所閉鎖準備	ブルーシートを片付け会場を清掃する ゴミ箱、掲示の撤去
13:30	第3回運営会議 閉所式 通信訓練	各班の活動まとめと反省 閉所式の打ち合わせ 訓練の反省、今後の活動等 避難所閉鎖宣言 【施設管理者 担当職員】 避難所を閉鎖する 【担当職員】区災害本部へ避難所閉鎖の報告をする。
14:00	避難所閉鎖	

* 広域避難所訓練が行われたため受け入れ食料を配布後12時に閉所しました

2 【訓練結果】

2.1 訓練で良かった点（うまくいった点）とその理由

避難所開設後、内部の確認、マンホールトイレの収納倉庫の確認を行いました。避難所運営委員会の班員の方々が作業をする場合に作業内容がわからない場合があります。避難所運営訓練訓練では所属の班の作業を行う場合もあります。手慣れた方と一緒に作業をして覚えれ良いと思います。運営訓練の計画書には細かな作業内容を書いてはいません。新人の方々とできるだけ一緒に作業をするようにしています。避難所運営訓練計画書とは別に各班の訓練計画を作りました。総務、情報班を除いて他の班の方にはマンホールトイレの組み立て訓練をお願いしました。

2.2 訓練で悪かった点（うまくいかなかった点）とその理由

避難所でもマスクを付けているので新人の運営委員方は自分の所属自治会の方は判るのですが他自治会の方々には心配りができませんでした。

避難所運営訓練と広域避難所の訓練が同日だったので避難所運営訓練を短縮しました。

3 【課題等】

3.1 地域の課題

避難所運営委員会の参加自治会は白幡自治自治会（1丁目、3丁目）根岸自治会、東高層住宅自治会の三自治会で構成されています。白幡自治会の区域は高齢世帯が多い区域です。したがって、避難所訓練に参加する方が少ないと思われる。根岸自治会も同様でしょう。東高層住宅自治会では自主防災会組織ができています。

3.2 今後に向けて（改善点等）

白幡自治会、根岸自治会の範囲内にも大規模な共同住宅がありますが建物にて自主防災訓練をしている建物もあるようですが自治会未加入だと避難所運営訓練の回覧も回りませんから広報方法を考えた方がよいと思います。

令和5年度運営訓練実施報告書

避難所名：大谷場小学校

実施日：令和5年11月18日（土）

時間：午前9時～12時30分

1 【訓練概要】

1.1 訓練参加者

参加人数 116名

(参加者内訳)

NO.	名称	参加人数
1	大谷場自治会	6
2	大谷場上町自治会	12
3	大谷場下町自治会	10
4	南本町自治会	6
5	白鷺自治会	8
6	南浦和一丁目自治会	10
7	南浦和二丁目自治会	13
8	南浦和三丁目自治会	11
9	南浦和東自治会	11
10	南浦和四丁目自治会	1
11	南浦和市営団地自治会	0
12	東岸町自治会	4
13	市職員	6
14	施設管理者	2
15	防災アドバイザー	2
16	大谷場消防分団	8
17	水道局職員	2
18	その他一般	2
19	区役所関係者	2
	合計	116

R5.11.18

大谷場小学校避難所運営訓練スケジュール

時間	訓練事項	担当	訓練内容等
9:00	1 地震発生		
9:10	2 避難所集合(体育館)	運営委員(施設管理者・担当職員・参加自治会役員)	
9:20	3 避難所開設(体育館)	市職員	体育館演壇に長机4・イス15設置
	4 区本部との通信訓練	市職員	
	5 物資搬出	市職員	防災倉庫から物資搬出
9:20	6 第一回運営会議(体育館)		役割分担・開所式打合せ
	7 避難者受付準備	自治会(南1)	体育館入口テント設置等・長机6・イス12
			受付担当(白鷺・南1・南2 各自治会1名)
		市職員	発熱者(大上・大下・東岸各1名)分離誘導
9:30	8 避難者受付訓練	情報班(東岸)	避難者カード記入(集計は情報班:東岸)
			受付担当(白鷺・南1・南2 各自治会1名)
			受付補助(大上・大下・東岸 各自治会1名)
		市職員	コロナ等発熱者を分離誘導
		運営委員	受付後体育館に誘導
9:50	9 開所式	運営委員	司会(南2)
			・挨拶(小池)
			・挨拶(細井区長)
			・運営委員会役割・班長・消防団紹介
			(運営委員の明示 タグ? グッズ?)
			・訓練スケジュールの説明
10:10	10 避難所区割り訓練	総務班(南2)	体育館にブルーシート設置(4枚×4枚)
			(1区画に3自治会×4班)(班分け下記)
10:30	11 各種訓練準備		
	①簡易トイレ開設	環境班(白鷺)	指導者は浜田防災アドバイザー
	②車いす	救護班(大上)	車イス1(防災倉庫から)
	要支援訓練		指導者は川添班長
	③担架	総務班(南2)	指導者は消防団 担架(消防団が用意)
	④地下水貯水タンク	情報班(東岸)	指導者は水道局
10:30	12 (第二回運営会議)		避難者の人数・状況報告

10:40	13 各種訓練開始（4項目）		参加者を4班に分ける（各班15分）
	①簡易トイレ	誘導（山田会長）	1班 大谷場・上町・下町 ①⇒②⇒③⇒④
	②車いす	誘導（中里会長）	2班 南本・白鷺・南2 ②⇒③⇒④⇒①
	③担架	誘導（清宮会長）	3班 南1・南3・東 ③⇒④⇒①⇒②
	④地下水貯水タンク	誘導（鈴木会長）	4班 南4・市営・東岸 ④⇒①⇒②⇒③
11:30	14 救援物資受入・配布訓練	市職員	ダイ-物品搬入
11:40	14 救援物資受入・配布訓練	食料班（南1）	区役所（お茶・ゼリー等4種）・競馬場（ケーキ2種）
		食料班（南1）	以外食品（カレー・カレー・ごはん）購入（150個）
		物資班（大下）	レジ袋詰め（150個）
		市職員	アンケート用紙配布
11:50	15 避難所閉鎖準備		体育館フルシート・長机・いす撤去清掃
11:50	16 （第三回運営会議）		各班の活動まとめ反省会
12:10	17 閉所式	市職員	アンケート用紙回収
		講評	消防団長
		食料班（南1）	物資配布
		物資班（大下）	物資配布
12:20	18 区本部との通信訓練	市職員	
12:30	19 避難所閉鎖		後片付け
		環境班（白鷺）	ゴミ箱設置・回収

2【訓練結果】

2.1 訓練で良かった点（うまくいった点）とその理由

1. ほぼスケジュール通りコンパクトに運営ができた
 - 7月下旬から事前に4回の運営委員会を開催するとともに
 - 地区自治会連合会議で各自治会長に説明し理解を得ていた
2. 12自主防災会のうち1自主防災会を除き11自主防災会から参加者があった
 - 浦和区の自主防災会（東岸町）会長との連絡を密にした
 - 地区自治会連合会会議で書く自治会長に積極的に参加の要請をした
3. 選択項目もスムーズに対応できた
 - 地元消防団・防災アドバイザー・班長・各運営班長・水道局の協力による
 - ところが大きかった

2.2 訓練で悪かった点（うまくいかなかった点）とその理由

1. 選択項目の設定に時間がかかり手間どった
 - 南消防署は他所の『防災訓練』南区社会保険事務所は『コミセン祭り』と
 - 重なり協力を得られなかった
2. 避難所運営訓練開始当初受付がやや混乱した
 - 9時発災直後すぐに近隣の参加者が参集し受付の準備が間に合わなかった
 - この点は想定範囲内の事象ではあった
3. 選択項目の進行にばらつきがあった
 - 参加者を4班に分けたが人数にばらつきがあったためである
 - 各自主防災会の参加者数にバラつきがあった（0名～13名）
4. 避難所運営訓練利用施設が他の団体が利用していた
 - 体育館：ミニバスケット・グラウンド：少年野球チームが練習の準備中であった
 - 施設管理者の勘違いと思われる

3【課題等】

3.1 地域の課題

1. 参加者は高齢者が多かったが青壮年層の参加をいかに進めるか
ボーイスカウト・中学生の参加も検討したが時間の制約もあり断念した
2. 避難所の立地上の問題点(体育館と校舎本体との高低差・距離)がある
車いす等での移動は困難であり要支援者の対応を検討する必要がある
3. 避難所はJR南浦和駅徒歩10分の位置にある
帰宅困難者等の受入体制を検討しておく必要もある

3.2 今後に向けて(改善点等)

1. 避難所運営訓練の事前打合せ会に施設管理者の出席を要請したい
担当部署は学校等施設管理者への指示を徹底してほしい
施設所有資材の有効活用に資すると考える
2. 消防署・社会福祉事務所等の関係団体への訓練実施予定日の連絡を徹底してほしい
消防署員は南区避難所訓練日を深く認識していない様子であった
3. 避難所運営訓練の実施要領の継続・継承が必要である
コロナ禍もあり8年ぶりの運営訓練となり運営委員で前回経験者は少なく
運営方法の検討に時間と労力を要した
4. 雨天時等の対応策の検討が必要である
雨天時の対応策(受付場所・訓練場所の確保等)は不十分であった
5. 避難所運営委員会の役割等を自治会会員等に理解してもらう工夫が必要である

令和5年度運営訓練実施報告書

避難所名： 西浦和小学校

実施日： 令和5年11月18日（土）

時間： 9時00分より15時00分

1 【訓練概要】

1.1 訓練参加者

参加人数 169名

(参加者内訳)

No.	名称（自治会名、防災アドバイザー、担当職員、施設管理者、外国人、18歳未満の子供、障害者等の支援者、民生委員、その他	参加人数
1	曲本1 自治会	20名
2	曲本2 自治会	12名
3	曲本3 自治会	9名
4	四谷1 自治会	14名
5	四谷2 自治会	10名
6	四谷3 自治会	4名
7	内谷2 自治会	6名
8	内谷3 自治会	10名
9	田島団地自治会	9名
10	田島第4自治会	5名
11	さいたま市避難所担当職員	5名
12	さいたま市立西浦和小学校施設管理者（校長・教頭）	2名
13	民生委員	1名
14	その他（一般参加者・小学生8名含む）	36名
15	さいたま市消防局南消防署職員	8名
16	さいたま市消防局桜消防署西浦和出張所職員	4名
17	さいたま市消防局西浦和消防団々員	5名
18	さいたま市南区保健センター	2名
19	さいたま市地域包括支援センター（けやき）	2名
20	さいたま市南区防災アドバイザー	5名

	時間	訓練内容	運営委員の担当・役割・活動
	9:00	地震発生	自身・家族の安全を図る
	9:15頃	避難開始	途中被害状況の確認・初期消火 正門からの避難者は初期消火訓練（消防署団指導） 食料班・支援2・支援3・・・合同実施 1 担当職員は所定の活動を開始《施設安全確認》
初 期 対 応	9:30頃 集まった人員で開始する (一般参加者にも参加を呼び掛ける)	開設訓練開始 避難者の受け入れ準備 避難者が優先して必要とするところ	《施設安全確認》後【集まった全員】 ・避難者の受け入れ準備（ブルーシート区割等） 各班 テーブル・椅子を配置する・ブース名を掲示 ・避難者の受付準備・受付開始【総務】〈情報班・支援3〉 ・災害用及び・マンホールトイレ【環境】〈支援1班協力〉 ・応急手当【救護】〈防犯班協力〉
	10:00	第一回避難所運営会議	1 各担当の紹介 運営各班長・施設（西小）・担当職員・防災アドバイザー 他参加施設代表・けやき 2 現在の状況報告等の確認
班 個 別 に 訓 練 開 始	10:00 各班 班長の指示により基本訓練開始 (各班作成の個別マニュアル)	各班は活動開始 (別記 基本訓練内容に従い) 各班の実施要領・手順の確認から 手空き人員は応急手当参加や申し合わせ事項確認・初期消火訓練などに参加する	1 救命訓練開始・心肺蘇生 AED 消防職員・消防団 指導 【救護班】〈支援2班協力〉 2 情報班活動開始 情報の収集・開示 【情報班】 3 相談窓口の開設・ペットの受け入れ 【支援3班】 4 食料班活動開始 【食料班】 5 防犯班活動開始 【支援1班】 6 防災物品の管理・救援物資受入れ配布 【物資班】 7 緊急車両等の通路確保・校内進入車両の誘導及び安全確保 【支援1班】 想定図面の作成・人員の配置計画

11:45頃まで		
12:00	災害関連 DVD 上映は30分程度	1 食料の配布 【食料班】 2 ゴミ類の区分・ごみ箱設置 【環境班】 3 飲料等の配布 【物資班】 (スクリーン・プロジェクターを) 【事務局・施設】
12:30	第二回避難所運営会議	参加者等の人数・状況・閉会式の流れ
12:45頃から	各班施設確認 (30分程度予定)	各班協議事項に合せ実際の校内見学
13:15頃から		各班反省会・アンケート記入
14:00	避難所閉鎖訓練	1 閉会式 各班長の紹介・施設 (校長・教頭) 担当職員 西浦和消防団・消防職員・運営委員 (事務局) アドバイザー 2 今後の活動について
14:30	閉鎖準備 (かたづけ) ・・・解散・・・	清掃作業 (トイレ等の使用した箇所)・ごみ回収・窓閉め 【参加者全員】
15:00	避難所閉鎖	

注 支援1・・・四谷1丁目自治会・支援2・・・田島団地自治会・支援3・・・田島第4自治会

※ 実際の訓練運営には十分安全に配慮して実施してください。

令和 5 年度 西浦和小学校避難所運営訓練 基本訓練内容（本年の訓練目標・・・各班の役割を認識し他班との協力も推し進める）

四谷一丁目（支援 1 班）・・・避難車両の配置・緊急車両等の誘導・車中泊・テント泊の支援
車両の配置図・緊急車両等の誘導手順・車中泊テント泊の場所の選定

四谷二丁目（救護班）・・・応急救護の資機材の選定と確保・応急手当の習得

四谷三丁目（情報班）・・・情報の収集方法と開示の選定及び方法・時系列の記録収集

曲本一丁目（食料班）・・・食料の作成と配布の方法・アレルギー等の情報収集

曲本二丁目（総務班）・・・避難者の情報収集と集計・自宅避難者の集計・外国人の対応

曲本三丁目（環境班）・・・災害用トイレの取り扱い方法・マンホールトイレの組み立て
避難所全体の清掃当番やゴミ当番の組織作り

内谷二丁目（防犯班）・・・パトロールの実施方法の作成・巡回順路や時間の割振り・犯罪等の対応方法

内谷三丁目（物資班）・・・物資の受領と配布方法・必要物資の請求と受領

田島団地（支援 2 班）・・・要支援者と高齢者の支援・場所（避難場所・自宅避難）

田島第四（支援 3 班）・・・相談窓口の開設（要望や意見の受付・様式の作成）

ペットの受け入れと飼育管理の組織作り・ルールの策定

さいたま市消防局南消防署
桜消防署
西浦和消防団



- ・ 応急手当
- ・ 救命講習
- ・ 初期消火訓練

地域包括支援センターけやき

2 【訓練結果】

2.1 訓練で良かった点（うまくいった点）とその理由

- 1 過去のアンケートを参考に組織を編成替えした・・・災害時には知り合い同士がこころ強く活動できる為1自治会（自主防災会）1担当とした（10班に振り分けた事により訓練が円滑に進んだ）
- 2 運営マニュアルを見直し、一例として総務班などは活動項目が多いのでペット担当などを別班に振り分けて活動項目の均等化を図った、また近年ハラスメントなどの問題化している処でパトロール班と女性などの相談専用窓口班を設けた
- 3 活動（役割）の基本を身に付ける為に、さいたま市運営マニュアルを基に班（自主防災会）ごとに独自のマニュアルを作成して訓練に臨んだ
(独自のマニュアルを作成する事により各自の役割を明確化した為、活動に迷いが無くなった)
- 4 実際に発災したものとしてタイムテーブルの時間はおおよその目安とした
(実際に大規模災害が発生したならば被害等条件が個々に違うため、避難所に参集した人員が少数であっても重要度の高いものから初期対応として活動を開始する共通の認識を持つ事が出来た)

2.2 訓練で悪かった点（うまくいかなかった点）とその理由

- 1 実際にペットが居ないペット対応訓練
- 2 パトロールする場所が無いパトロール班（体育館での訓練）
- 3 車両誘導・車中泊・テント泊などの対応
(実際に訓練で活動し難い処が有り、イメージと図上の訓練に留まった、全体に体育館と校舎一部では無理がある)

3 【課題等】

3.1 地域の課題

- 1 地域の世帯数や人口は増えているが参加者の高齢化や参加人数が縮小している。
- 2 災害に対する住民の危機意識が乏しい。
- 3 一般の住民に避難所に避難する意識もあまり感じられない。

3.2 今後に向けて（改善点等）

- 1 実施した訓練の検討会を開き次年度の訓練に反映する事を重視する（重要）
- 2 今後開設訓練と運営訓練をどのように実施して行くのか改めて考える。
- 3 自治会の役員を中心に訓練を実施しているが、一般の方も訓練に参加し体験して貰きたい。
(次年度、より多くの参加者を募り、ペットを飼っている方などの参加も呼び掛けたい)

令和5年度運営訓練実施報告書

避難所名：文蔵小学校
 実施日：11月18日(土)
 時間：9:00 ~ 12:00

1 【訓練概要】

1.1 訓練参加者

参加人数 99名

(参加者内訳)

No.	名称 (自治会名、防災アドバイザー、担当職員、施設管理者、外国人、18歳未満の子供、障害者等の支援者、民生委員、その他)	参加人数
1	文蔵3丁目自治会〈民生児童委員を含む〉	21
2	文蔵4丁目自治会〈 " " 〉	14
3	文蔵5丁目自治会〈 " " 〉	12
4	文蔵南自治会〈 " " 〉	18
5	文蔵小学校 P.T.A	15
6	防災アドバイザー	1
7	担当職員	6
8	施設管理者	4
9	水道局職員	2
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		99

1.2 訓練スケジュール (独自の様式で作成している場合は別添でも構いません。)

時間	訓練内容	備考
9:00	地震発生 避難所開設	
9:30	避難所受付開始 受付総務班	担当職 施設管理者
9:40	第1回運営会議 開所式と合わせ 避難所区割の確認 各班訓練内容の確認	進行 4-7-
10:00	開所式 あいさつ (4-7- 学校長) 紹介 (副4-7- 各班長・施設管理者、アドバイザー 担当職員) 訓練内容スケジュールの説明	
10:15	災害関連映像の視聴 (全員で視聴) 防災アドバイザー説明	
10:30	訓練開始 総務班 避難スペース区割り・各袋の整理 情報班 各居室等の被害状況の確認・標識の確認 物資班 防災倉庫の中味点検 倉庫班 物資受入れ(手搬搬入済)物資の仕分け・配付準備 環境班 簡易トイレの使用法確認 設置場所の確認 救護班 救急箱(2食用品)担架、 椅子 車椅子の準備(防災倉庫) 水道局職員による断水時の緊急給水設備の確認(全員で見学)	
11:20	第2回運営会議 訓練内容結果報告 二次後援の確認	
11:30	避難所閉鎖準備 総務班 指示でフルシートを撤去 環境班 会場を清掃 物資班 余剰物資を防災倉庫に保管 物資の配付 救護班 救急箱の返却、担架、車椅子を防災倉庫へ	
12:00	閉所式 4-7- あいさつ 講評 副4-7- (島田氏) 総務班 区長 ※アンケート記入の解散 避難所用鎖 — 施設管理者、担当職員が行う 担当職員、災害所対策本部へ避難所用鎖の報告	

2 【訓練結果】

2.1 訓練で良かった点 (うまくいった点) とその理由

- 訓練全体としては、参加者の協力がスムーズに行けた。
- 受付については、当所から一段の沢山の方向の受付は付けたいと想定して避難ルートを手渡して、後ほど回収の対応をした。天候は悪化したが、うまくいった。
- 倉庫等施設の中で実際に確認することで、使用する際のイメージが沸いてきた。
- 簡易トイレの使用法の確認訓練は断水時のトイレは重要な課題なので訓練に付いた。
- 水道局職員との協力により実際の給水設備の確認ができてよかった。
- 各班も色分けをした。各班の動きがわかりやすかった。

2.2 訓練で悪かった点 (うまくいかなかった点) とその理由

- 受付時に検温のことに合わせて、避難者カードを配付した。不足がなかった。
 - 防災倉庫の確認は品目が多いため個別に確認するには時間が足りない。また倉庫内の狭い (品数が多すぎる) ため、確認の方法と検討が必要。
 - 運営会議で報告のうけ付けが、(リーダーとしての反省点)
- 各班

3 【課題等】

3.1 地域の課題

避難所や災害時と水害(荒川氾濫)では場所違うため、水害時
における避難のしかた。

3.2 今後に向けて (改善点等)

避難所に開設するにあたり、施設管理者や行政の担当者や不在の場合
避難所は誰が開設するのか(疑問)

令和5年度運営訓練実施報告書

避難所名：善前小学校

実施日：11月25日(土)

時間：9時～12時

1 【訓練概要】

1.1 訓練参加者 173名

参加人数 ~~167~~名

(参加者内訳)

No.	名称 (自治会名、防災アドバイザー、担当職員、施設管理者、外国人、18歳未満の子供、障害者等の支援者、民生委員、その他)	参加人数
1	善前南自治会	16名
2	太田窪二十三夜自治会	15名
3	太田窪新下自治会	10名
4	大島台懇和会自治会 (子供4名含む)	34名
5	東大島自治会 (子供1名含む)	14名
6	善前自治会	16名
7	明花自治会	22名
8	円正寺自治協力会	18名
9	向原自治協力会	2名
10	市担当職員	5名
11	施設管理者	3名
12	南区役所幹部	3名
13	南区役所保健センター	2名
14	聴覚障害ご夫婦	2名
15	手話通訳士	2名
16	防災アドバイザー	1名
17	一般見学者	4名
18	水道局	2名
19	民生委員	2名
20		

善前小避難所運営訓練全体の流れ 各班のおおまかな訓練及び作業一覧です。タイムスケジュール及び作業詳細は、各班班長に従ってください。

令和5年11月25日(土)
 於：善前小学校
 参加：10自治会

時間	全体内容	一般避難者	総務班 (黄緑色)	情報班 (水色)	救護班 (ピンク)	食糧班 (橙色)	物資班 (青色)	環境班 (緑色)	
8:30	地震発生 震度6強	安全確認後 一時避難場所 集合	避難者受付誘導 生活ルール作成 居住場所区割り作成 避難者名簿作成管理	避難所内案内図作成 情報収集と伝達掲示	救助場所設営 応急手当訓練	食糧飲物配給	物資・食糧等の 受入れと管理 物資の出庫	ゴミ置場設置管理 トイレ清掃	
9:00	避難所開設 区割り確認	避難開始	区割り確認 (運営委員全員)						
9:25	避難者受け入れ 第1回避難所会議	避難所へ集合	受付・資料配布 避難者を区割りへ誘導	避難所配置図作成掲示 居住場所配置図作成掲示	救助場所の設営 疾病者受入れ準備	アルファ米作成の勉強	食糧・備品機材受入 各班への出庫	ゴミ置場設営 ゴミ袋配布	
		第1回避難所会議 (班長出席)							
9:35	トイレ休憩	トイレ休憩	避難者カード配布	情報の随時提供				ゴミ置場など	
9:45	開所式 挨拶・紹介	開所式	生活ルール作成掲示					衛生管理と巡回	
10:00 ~11:15	一般避難者対象 貯水タンクデモ見学 ダンボールトイレ実習	一般避難者対象 貯水タンクデモ見学 ダンボールトイレ実習	随時避難者カード回収 貯水タンクデモへ一般 避難者半数誘導					ダンボールトイレを 使用したデモを一般 避難者半数誘導	
11:20	第2回避難所会議	第2回避難所会議 (班長出席)							
11:35	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	
11:50	休憩	休憩	閉所式準備	閉所式準備	閉所式準備	閉所式準備	閉所式準備	閉所式準備	
12:00	閉所式 講評・挨拶	閉所式	閉所式	閉所式	閉所式	閉所式	閉所式	閉所式	
12:20	解散宣言 後片付け	解散	後片付け (運営委員全員)						トイレ・施設内清掃

2 【訓練結果】

2.1 訓練で良かった点（うまくいった点）とその理由

- 災害用貯水タンクの見学
→ 初めて見学できて良かった。
- 各活動班（総務班～環境班）は色別のビブス
を着用し、前面に活動班の名前が印字されて
いるため役割がわかり易い。
- 簡易ダンボルトイレの組立て、使用方法のデモを行な
ったが、参加者の関心が高かった。
防災アドバイザーのサポートがあり大変助かった。

2.2 訓練で悪かった点（うまくいかなかった点）とその理由

- 本番でダンボルトイレを使用する際、どこで使用するのか、
汚物はどこに集めるのかとの質問に答えることが
できなかった。ダンボルトイレを3個用意したがおつと数
をふやすべきだった。
- 活動班によってはほとんど本来の仕事がなく
手持ち無沙汰になってしまった。
- フルシートへ各自治会15名（MAX20名）一般避難者を
募集したが、かえって参加を躊躇させることになった。

3 【課題等】

3.1 地域の課題

- ・当地区は極めて災害が少く、災害に対する意識が低い。
- ・当地区独自の運営訓練はコロナ禍を除いて毎年行なってきたが、今まで以上の緊張感をもって行なう必要がある。

3.2 今後に向けて（改善点等）

- ・運営訓練に当たった場合は、事前の打ち合わせ会議を早目の時期に行ない、回数を増やし運営委員に活動内容、役割を十分に認識させる必要がある。
- ・今回災害用貯水タンクの見学とダンボールイVのデモに終わったが、次回は防災訓練（AED取り扱い、毛布担架）を取り入れるか検討する必要がある。